

Year: 2012

Location: Japan

Program: 文化 レジャー施設

新国立競技場



周囲の緑の延長として、違和感なく環境にとけ込むスポーツの丘。日常的に公園として、公開空地として、人々の憩いの場となる立体公園を計画した。立体公園に配置されたスタジアム屋根は断面の小さな軽い構造（グリッドシェル）とし、競技場全体を覆っている。また小さいグリッド（5 m x 5 m）のそれぞれの中を開閉する小さなスクリーンで構成される自在な開閉屋根とした。これにより、従来の開閉屋根を持つ競技場に比べ、鉄骨量を約1 / 3削減でき、世界最軽量の開閉式屋根となる。